* 作業フォルダ
  + MSM：grib2decode4(GSM-G設定)
  + GSM：grib2decode4(GSM-G設定)）
* inputデータパス
  + GSM（2014～2016）：[\\202.251.10.210\gpv\GSM\_GUID](file:///\\\\202.251.10.210\\gpv\\GSM_GUID)
  + GSM（2017～2019）：[\\202.251.10.210\gpv\GSM\_GUID\_nilim](file:///\\\\202.251.10.210\\gpv\\GSM_GUID_nilim)
  + GSM（2020～） ：\\202.251.10.210\Share3\gsm\_guid
  + MSM（2014～2016）：[\\202.251.10.210\gpv\MSM\_GUID](file:///\\\\202.251.10.210\\gpv\\MSM_GUID)
  + MSM（2017～2019）：[\\202.251.10.210\gpv\MSM\_GUID\_nilim](file:///\\\\202.251.10.210\\gpv\\MSM_GUID_nilim)
  + MSM（2020～） ：\\202.251.10.210\Share3\msm\_guid

1. メッシュ座標を抽出
   * 天ケ瀬ダム上流域は、rain-mesh.swdを参照
   * GSM-G
     1. 「rain-mesh.swd」の「GSM-G全域」から天ケ瀬ダム流域を包絡するメッシュのidを取得
     2. 「MSM-GとGSM-GのXY位置算出.xlsx」の16行目に入力（メッシュ数によって適宜追加・削除）
     3. 19行目の数列を3.の引数で使用
   * MSM-G
     1. 「rain-mesh.swd」の「MSM-G全域」から天ケ瀬ダム流域を包絡するメッシュのidを取得
     2. 「MSM-GとGSM-GのXY位置算出.xlsx」の6行目に入力（メッシュ数によって適宜追加・削除）
     3. 9行目の数列を3.の引数で使用
2. 作業フォルダの「#input」フォルダにinputデータを格納
3. grib2decode4.batの100行目について、grib2decode4.exeの引数を書き換えて実行回数分(binファイル数分)の行を追加
   * 引数1：inputパス（inputフォルダ内のbinファイル）
   * 引数2：outputパス（変更不要）
   * 引数3：ヘッダー名（変更不要）
   * 引数4～9：1.で出力した数列を入力
4. output出力後、「データ整理\_GSM-G.xlsm」、「データ整理\_MSM-G.xlsm」を用いて流域平均雨量算出
   * 使用方法
     1. Input-Path：3.の処理でファイルを出力したフォルダを指定
     2. 開始日時：2014年のファイルが存在する最も古い日付
     3. 終了日時：2019/12/31
     4. 切り出し開始X：3.の引数5
     5. 切り出し開始Y：3.の引数6
     6. 切り出し終了X：3.の引数7
     7. 切り出し終了Y：3.の引数8
     8. データ種類：変更不要
     9. ~~流域面積(km2)：野村ダム上流域の流域面積~~
     10. ~~メッシュ重複流域面積(km2)：MSM-G、GSM-Gそれぞれの各メッシュが野村ダム上流域に重複している面積（idの数字が低い順、適宜行を追加・削除）~~
     11. 「cnt」以外のシートを削除
     12. 「結果整理」実行（時間を要します）
     13. 「流域平均雨量」シートに平均値を入力
     14. ~~⑫が終わり次第、「流域平均雨量」実行（時間を要します）~~